

**SHARP**

1

# 2007年 年頭記者会見

シャープ株式会社

取締役社長

町田勝彦

2007年1月12日

**SHARP**

団塊世代

暮らしを楽しみ不安に備える消費

「<sup>ごく</sup>極・<sup>らく</sup>楽・<sup>び</sup>備」商品

- ・おもてなしにも「**極**」上な商品
- ・趣味を手軽に「**楽**」しめる商品
- ・健康、安全、環境への不安に「**備**」える商品

団塊ジュニア世代

生活をいっそう簡便にする消費

「<sup>けい</sup>軽・<sup>はく</sup>薄・<sup>たん</sup>探・<sup>しょう</sup>省」商品

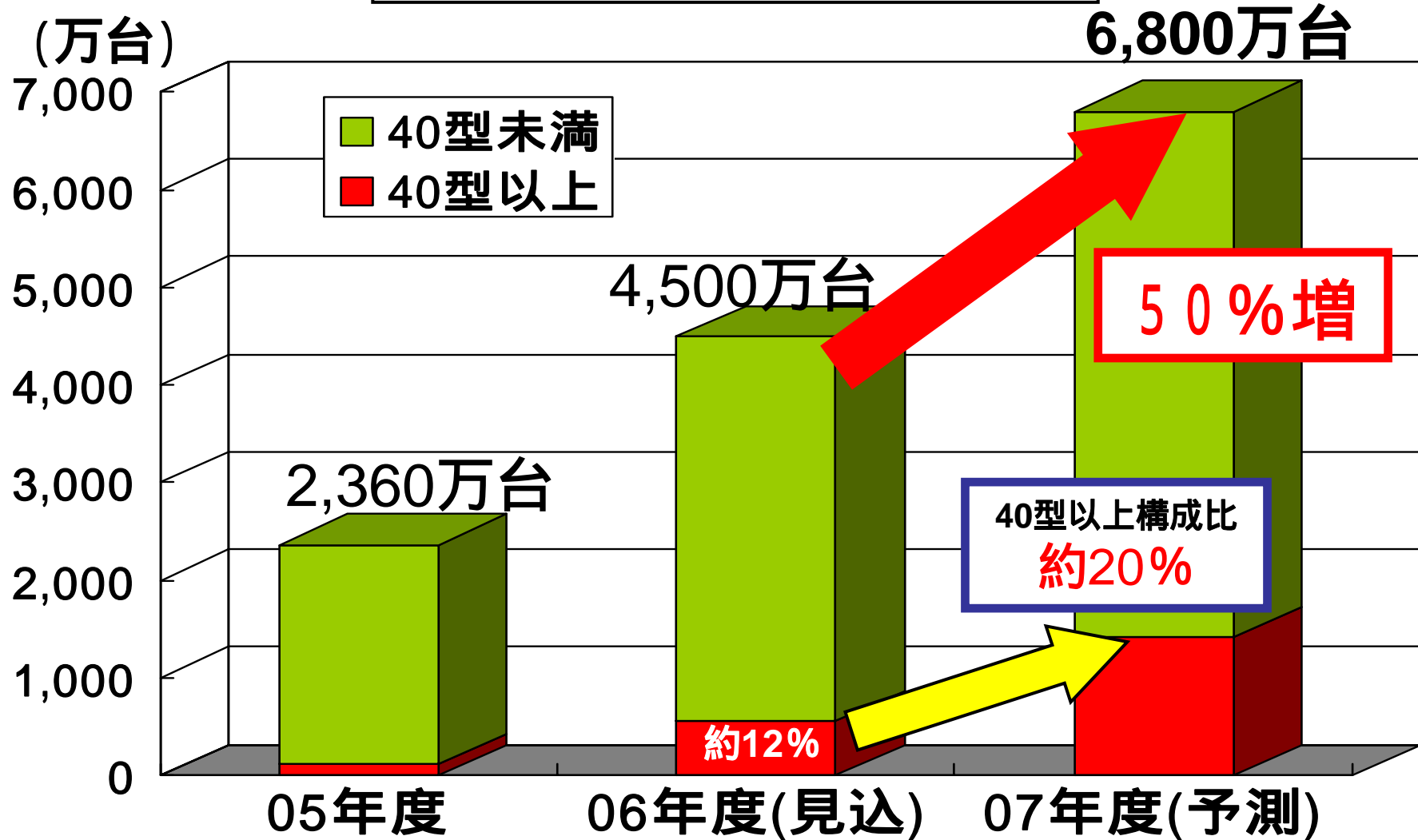
- ・身近で実用的な「**手軽**」商品
- ・すっきり収まる「**薄型**」商品
- ・すぐ簡単に調べられる「**探索**」商品
- ・手間がかからずメンテナンスフリーな「**省**」(ロボット)商品

# .2007年度重点事業取り組み方針

# 1. 液晶テレビと大型液晶事業



## 液晶テレビの世界需要

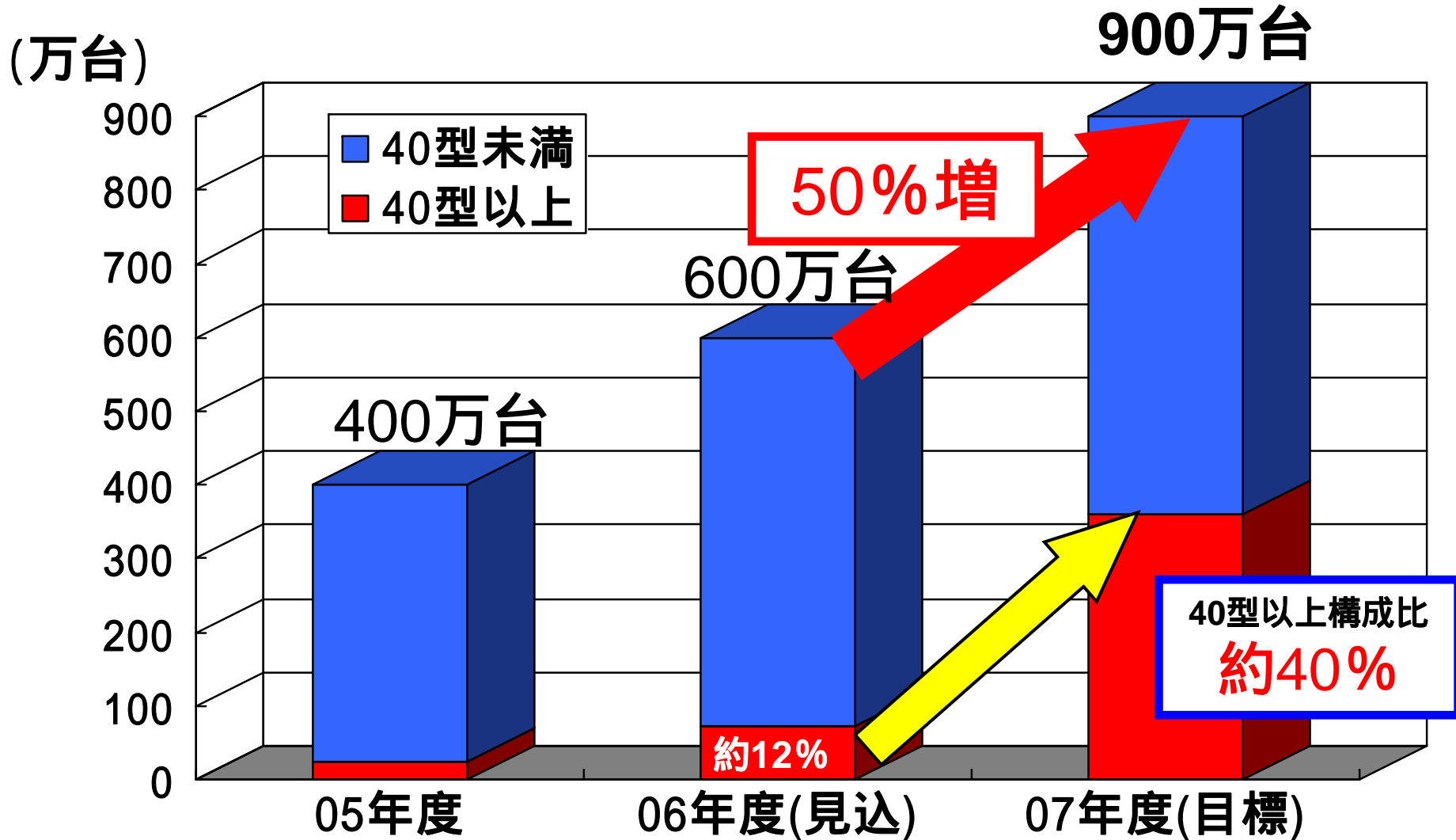




**世界最大 108V型 液晶テレビ**

**SHARP**

## 2007年度液晶テレビの販売目標



亀山第2工場の拡充

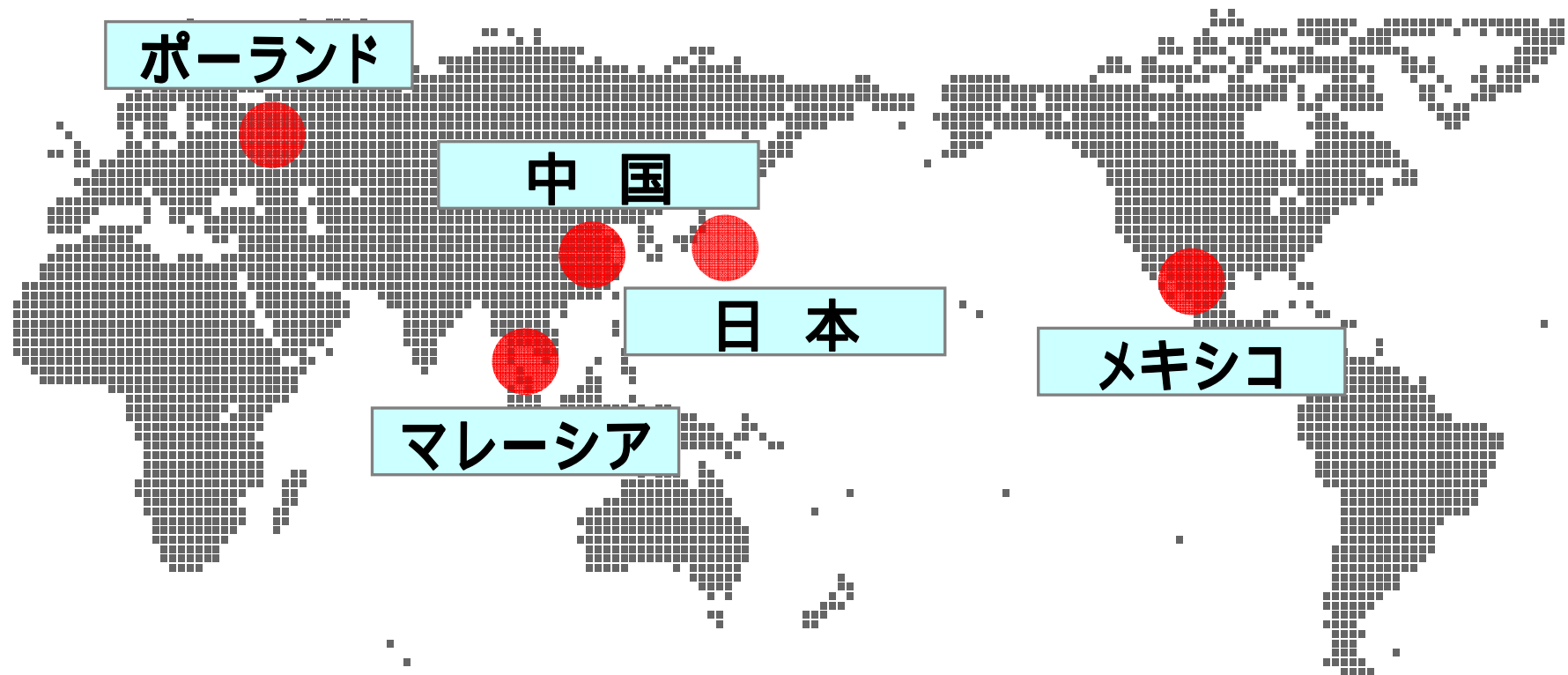
第1期展開  
(06年8月) 15,000枚 / 月

第2期展開  
(07年1月) 30,000枚 / 月

第3期展開  
(07年7月頃) 60,000枚 / 月



## グローバル5極一貫生産体制



## グローバル5極一貫生産体制

### 欧州市場

#### ポーランド工場

液晶モジュールの生産体制を2007年1月の月10万台から、本年末には月30万台に拡大

2007年7月頃より、液晶モジュールから液晶テレビの一貫生産を計画

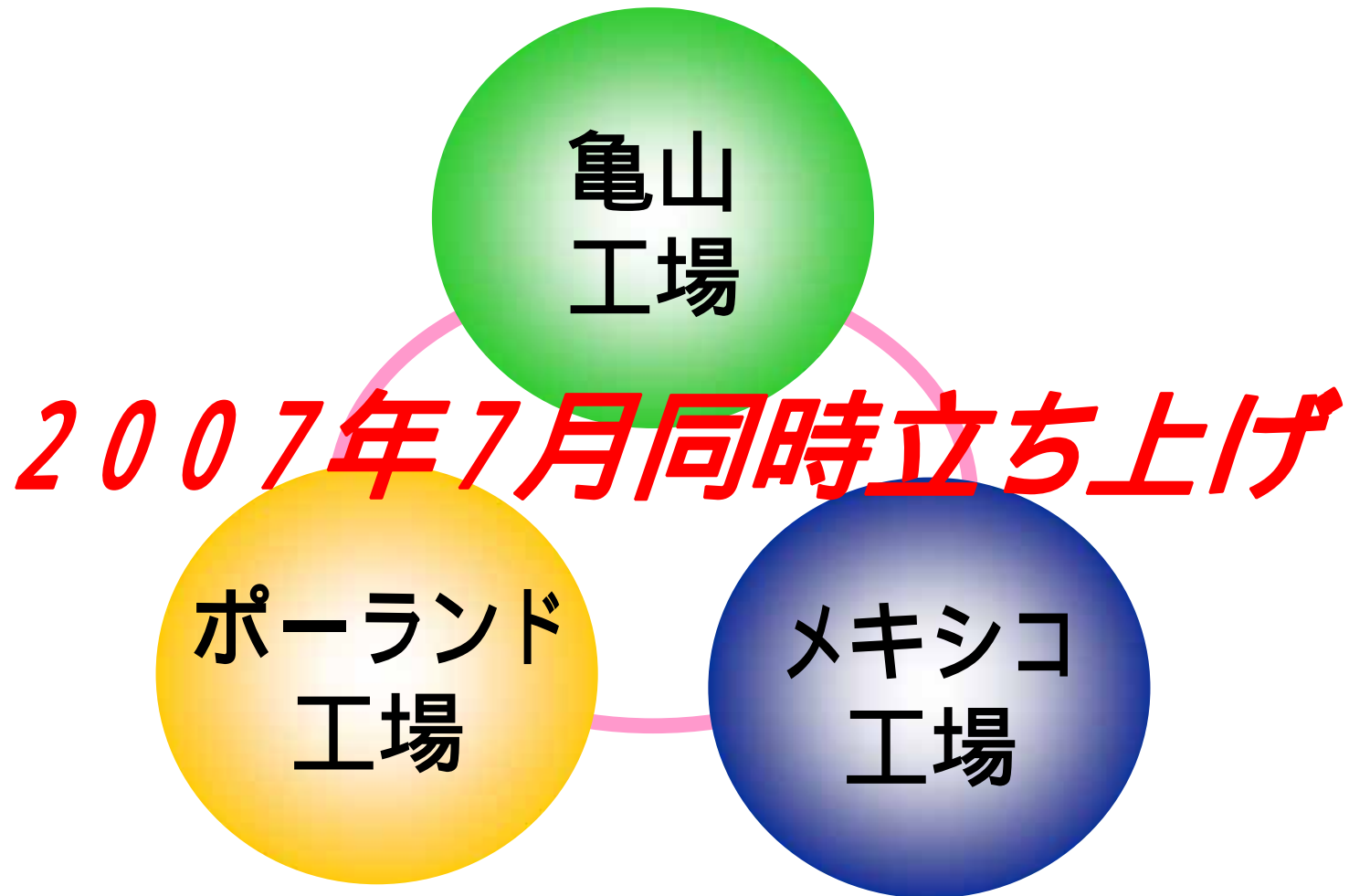
## グローバル5極一貫生産体制

### 北米市場

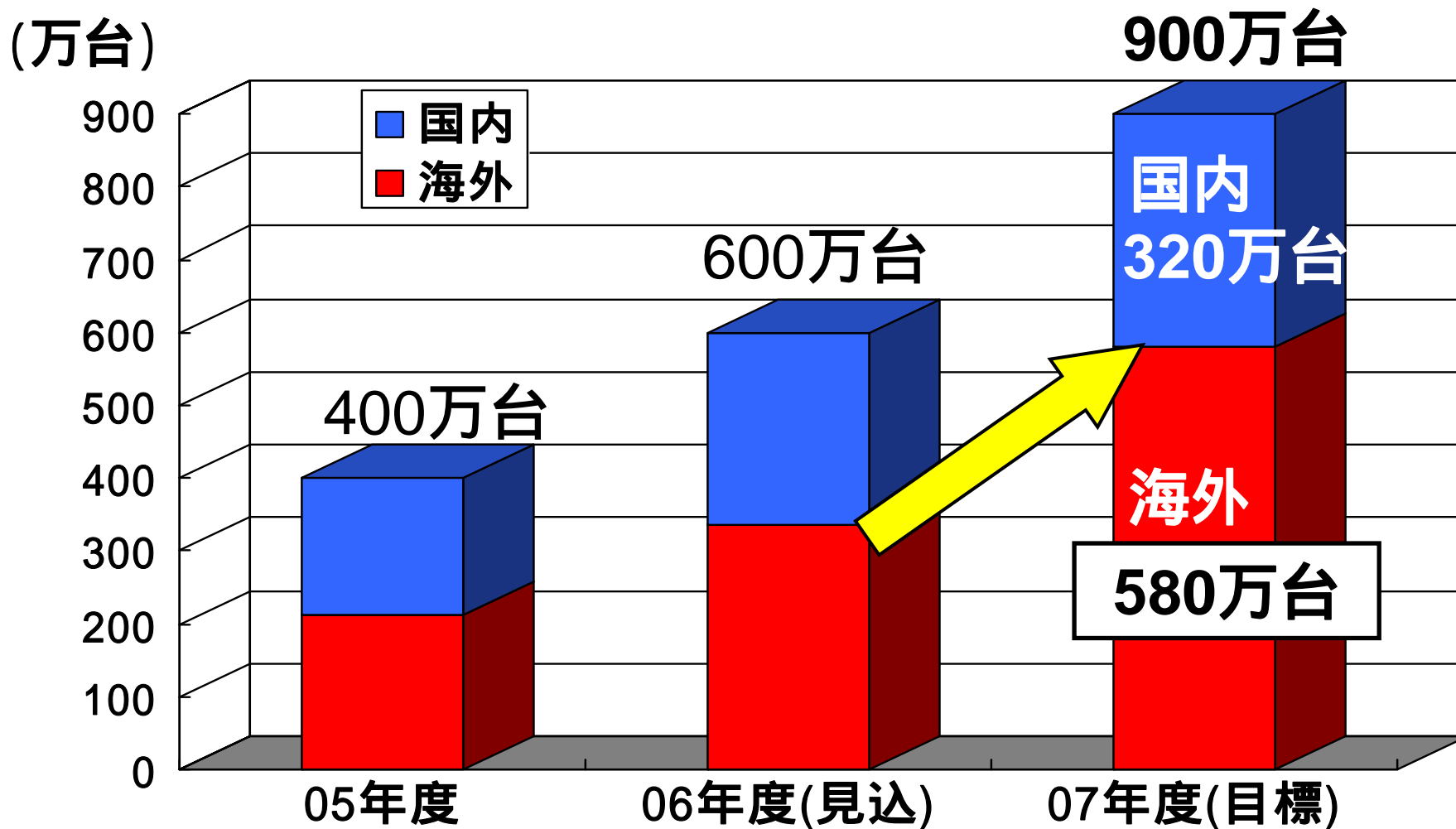
### メキシコ工場

2007年7月を目途に、液晶モジュールから  
液晶テレビの一貫生産を行う第2工場を新  
たに建設・稼動

グローバル5極一貫生産体制

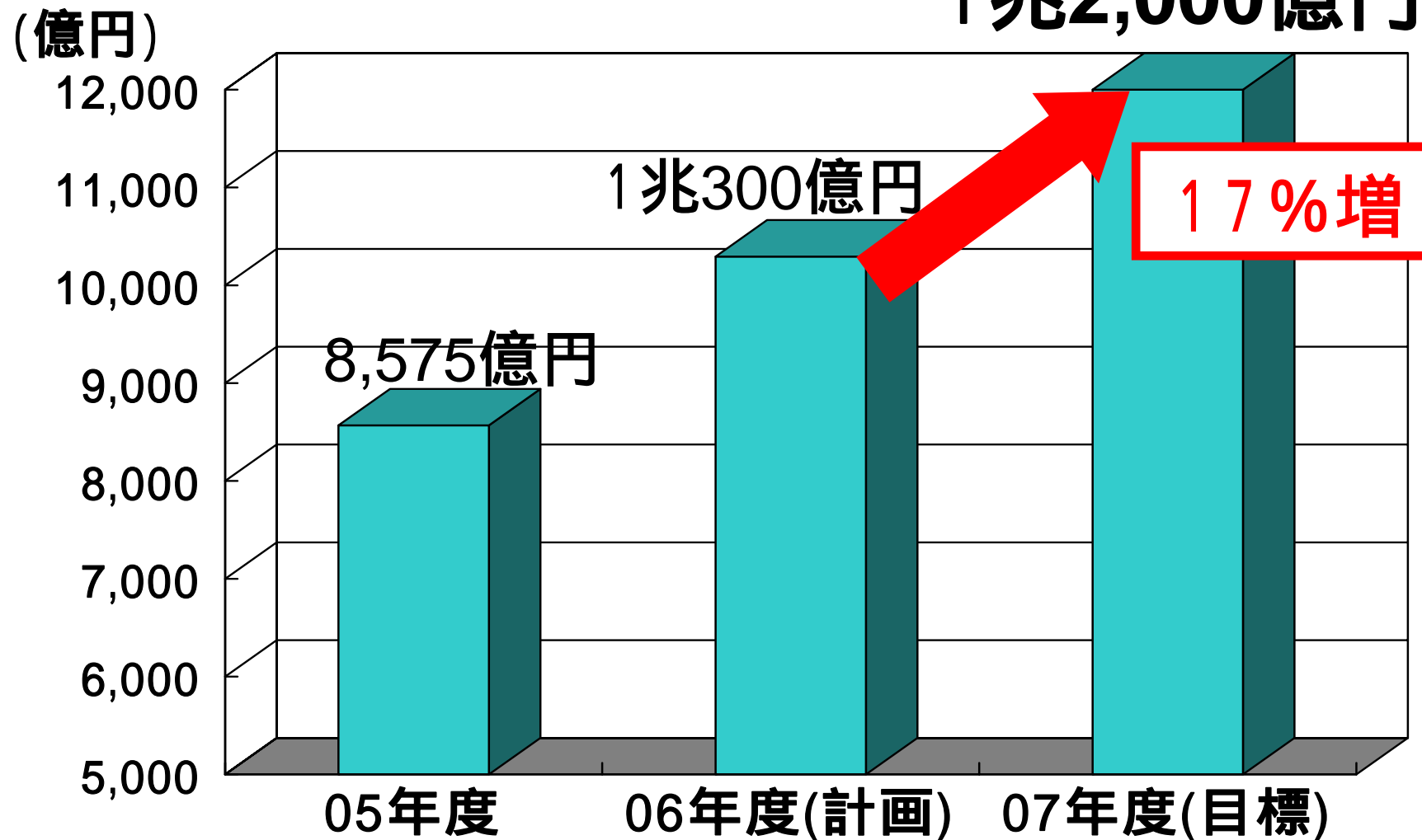


## 海外液晶テレビ販売目標



## 2007年度液晶事業の売上目標

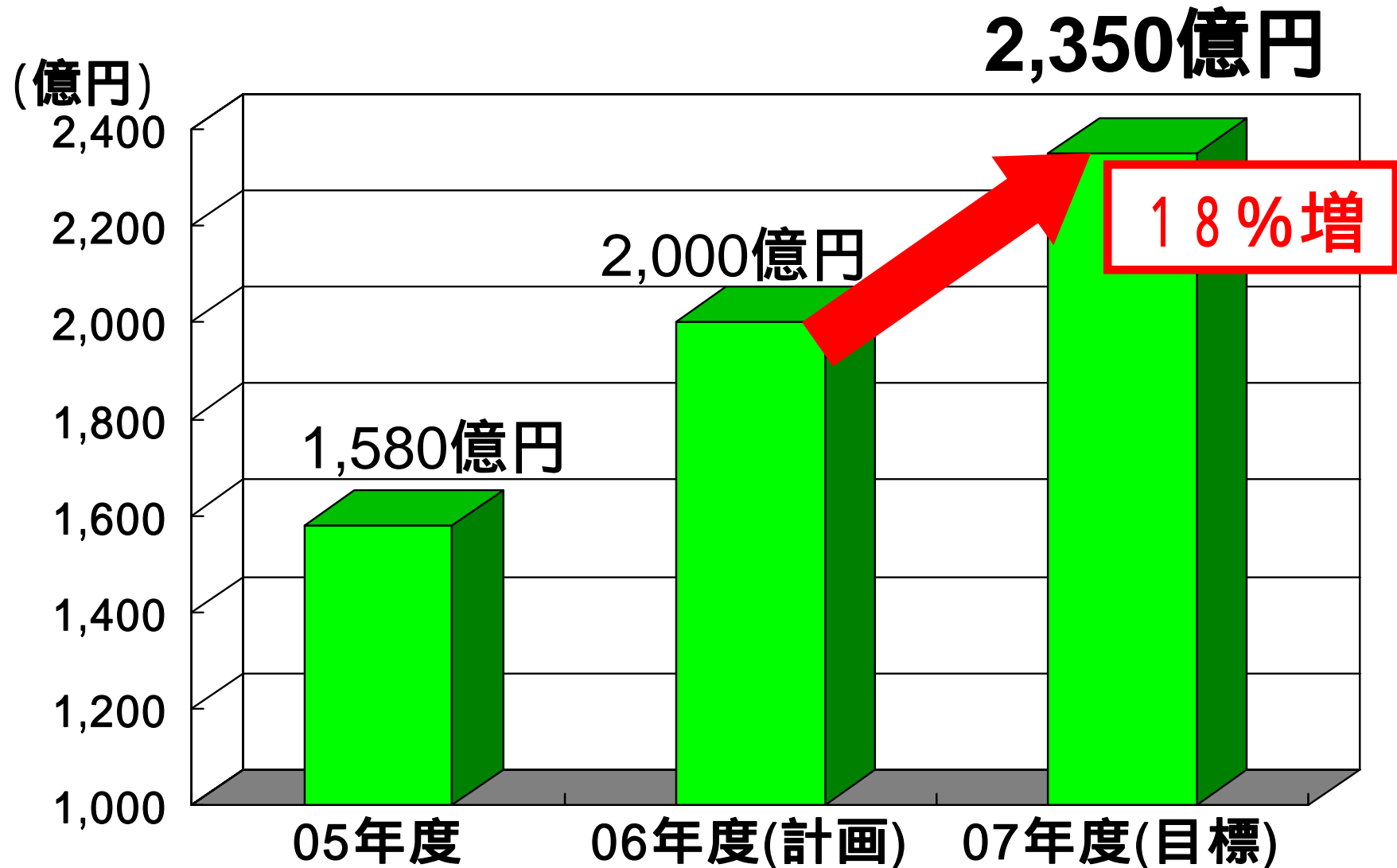
液晶デバイスのみ



# 2 . 太陽電池事業



### 2007年度太陽電池事業の売上目標





### 葛城工場の能力拡大と原材料の安定確保

#### 生産能力の拡大

### 葛城工場の生産能力拡大

2007年3月から生産能力を**110MW**増強

年間生産能力を 600MWから**710MW**へ

### 葛城工場の能力拡大と原材料の安定確保

#### 原材料の安定確保

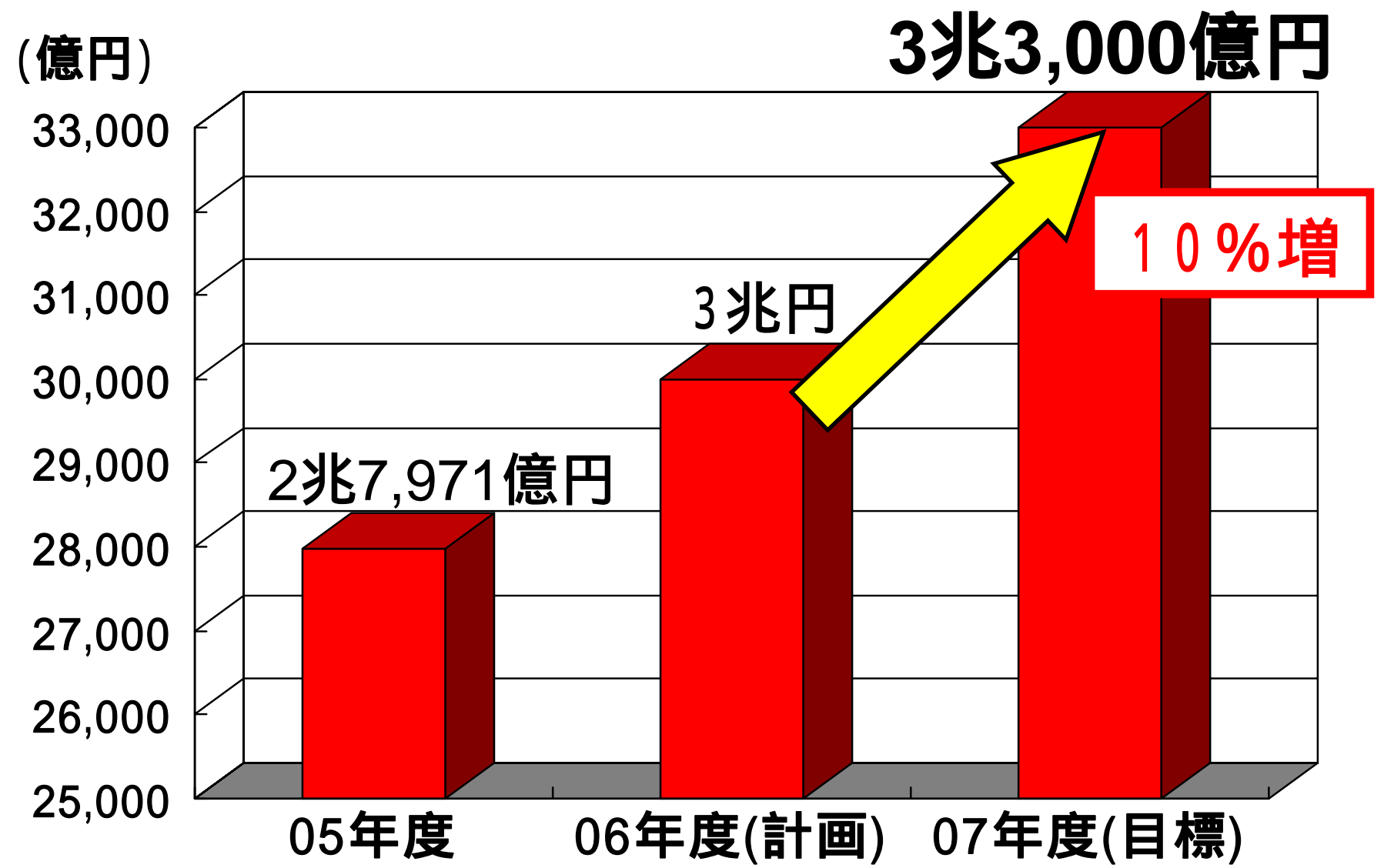
部材メーカーとのウェハ長期契約

富山事業所の開設

太陽電池用シリコンの生産を開始

# .2007年度の売上目標と設備投資

# 2007年度 連結売上高



## 2007年度 連結設備投資

液 晶 : 約2,000億円

太陽電池 : 約100億円

総額 3,000億円程度

**【見通しに関する注意事項】**

本資料に記載されている内容には、シャープ株式会社及び連結子会社(以下、総称して「シャープ」という)の計画、戦略、業績など将来の見通しに関する記述が含まれています。これらの記述は過去または現在の事実ではなく、現時点で入手可能な情報から得られたシャープの仮定や判断に基づくものであり、これには既知または未知のリスク、不確実性及びその他の要因が内在しています。それらの影響により、シャープの実際の業績、事業活動、財務状況は、これらの見通しと大きく異なる場合があります。また、新たな情報、将来の事象、その他にかかわらず、シャープが将来の見通しに関する記述を見直すとは限りません。なお、業績など実際の結果に影響を与えうるリスク、不確実性及びその他の要因としては、以下のものが挙げられますが、これらに限られるものではありません。

- (1) シャープの事業領域を取り巻く経済情勢
- (2) シャープの製品やサービスの需要動向の変化や価格競争の激化
- (3) 為替相場の変動(特に、米ドル、ユーロ、その他の通貨と円との為替相場)
- (4) 急速な技術革新の中で、シャープが顧客に受け入れられる製品やサービスを提供し続けていく能力
- (5) 諸外国における貿易規制等の各種規制

**SHARP**